▼沖縄合宿の意味

を伝えなければいけな

縄ジャーナリズム論」を ャーナリズム論」や「沖

います。

大きな特徴は「戦争ジ

人文・ジャーナリズム学

です。そんなきっかけを

ると判断しています。

もう一度「新聞力」を上

いるわけではないので、 部数が急速に落ち込んで

げ、盛り返すことができ

科で作っていければと思

弱いかで、ネットに対す

ただ、販売網が強いか

という面もあります。比

る「立ち位置」が変わる

ШШ

較的弱い新聞社は、ネッ

などを視察した。

文・ジャーナリズム学科 字科にしようとスタート は、正面からジャーナリ 人公の在りようを考える)ました。 本学文学部の人 います。今回の合宿やゼ 戦争の話を聞いた学生も たような気がする」と。 ミがきっかけになったの て、おじいさんに初めて 、。そういう使命を負っ

日本でもおそらく唯一の 置いたことです。これは

アリズムの大きな役割の 信と思います。 ジャー つが戦争を繰り返さな ◆ネットと新聞衰退

> に舵を切っています。逆 トで生きていこうと急速

業の側から見るのと、中

に強い新聞社は紙媒体が

あくまでも主で、ネット

き合って学ぶ必要があり ます。また、政治・経済 それについてきちんと向 いことだとするならば、 ます。経済用語や政治家 のでしょう。 どのように考えたらよい 社会の中で新聞の役割を しいと、若い人に言われ 新聞は中身が難 インターネット

間の高校生たちに話を聞 野古に行って、座り込み 初めて「戦争」と向き合 の人たち、あるいは普天 いました。学生たちは辺 した。ここで学生たちは ゼミは、沖縄合宿をしま 藤森・山田両 いていこうと考えていま 方を考えて若い人に近づ か」。そのあたりの見せ ならないようにする 近なものとして、縁遠く っています。 キーワードに、新聞を作 「どうすれば新聞が身

2 されてしまった」と言う き、「私たちは何かを託 題の縮図が沖縄にありま らですが、これに先立 外交などさまざまな問 これらの講義は来年か

> らない。分かりやすさを は若い人たちだけとは限

> > えるとか、世界を変える

前に言ったように国を変 聞力」を盛り返すのか。

という大きな動きとは別

に、地域ニュースによっ

てネットに十分対抗でき

ます。

新聞の持つ言論機能も

の名前など、よく分から

あります。

では、どうやって「新

は補完機能という傾向が

っている。一方の風景し

か見えない経済面だった

一方の人は不愉快で

織はほかにないのです。

細血管: を持っている組 決定的な違いは信頼性で シスコ・クロニクルの記

菅沼 ネットと新聞の

す。逆に言うと、新聞の 者と「事件報道って意味

ります。おおもと

は、社でしょう。

山田 新聞がそれに応

ンスが大事です。

会的合意です。

ね、三段重ねの状態があ ら、ネット中心でよいの

では、異なる風景が広が 小企業の側から見るのと

とほぼ同じ数あるのが新もします。

数の郵便局があり、それ

てもいいかなという感じ

そんなにオタオタしなく 番信頼できるのはどれで て、その法制度に

すか」と聞いたら、全員

取材・報道がなされ、毎

乗って

社会への関心を一切持

真剣に応えないといけな

その際、読者の批判に

決めています。

て記事を選択し、価値を

編集責任者が意思をもっ

です。でも、そのまま映

新聞は世の中を映す鏡

ているわけではない。

い。世の中には希望を持

が「新聞」と言うのです。

日、新聞が配られ

い読まを読みませんよ。自分の

たないと、おそらく新聞

一段重 関心事だけを追求するな

もっとたくさんある。ど

てる話とか、明るい話が

んなにつらい状況だとし

ても、です。そこのバラ

前に米国でサンフランれているというこ

日本中に小学校と同じ

聞販売店です。こんな、毛

ないことが多いと。それ

きく支えられています。 店網による宅配制度に大 などと違って、まだ販売 ただ日本の新聞は米国

合

は、9月6日から9日まで3 沖縄タイムス社を訪ね、論 くが参加して行われた。 田・藤森両ゼミ沖縄合宿

藤 森 は集団自決の話を聞き、現場 説委員長や記者たちと懇談。 大間基地を訪ね、渡嘉敷島で **嘉手納基地内、辺野古の海、普**



辺野古の海で取材

いただきます。

なくなるというご批判を

暗い話が多くて、元気が

のかと、がっかりする。 と世の中がこんなに悪い

して、新聞を読んでいる

菅沼 読者からの声と

いいと思います。

関 役割はて

言っています。新聞はそ

民主主義の必要経費」と

が大きなポイントです。 えてくれているかどうか

菅沼 新聞を読んで知

私は「公共メディアは

聞記者が来るのを待って 自分では発信できず、新 読む気がしませんよね。 ム(地域のさまざまな問 シビック・ジャーナリズ その販売店を拠点に、 っていく。 に違いが分かりにくくな になりました。すると彼 信頼性が崩れると、一気 があるのかな」という話 は「うわさの一人歩きを

もいます。今までの話に のに触ったことがない人 出たような新聞の魅力を そもそも新聞というも があります。 う、論を磨いておく必要 うべきことを言えるよ る局面も必ず来ます。言 くすることとか、目の付 ると思っています。 け所みたいなもの、今ま 藤森 目線をもっと低

は増しています。 憲法9 しているだけに、重要度

条に関する見解を問われ

ンティア、はたくさんあ

報道姿勢) のようなこと ことをしっかりと自覚

をして、フェイス・トゥ

いる人や世界、要は新聞

にとっての ニューフロ

って考え、解決していく

成り立っているかという

自分たちが何によって

是正するのが新聞。それ

学科はジャーナリストを

人文・ジャーナリズム

NIE(学校などで新

話が入ってきます。「街

明るい話や希望を持てる

で有志が素敵な地域ペー

パーを作りました」とい

です。

どうかが大きなポ

イント 層の工夫をしていきた

するという思いを のコストをみんな の代表選手であっ

持つか

身につけられるよう、一

会の会長として、親御さ

ありがたいのは、育友

んや教職員の皆さんから

が分担

なく、発信力や文章力も 識や物事の考え方だけで

て、そ

の人脈次第です。

トは意外と少ない。記者

新聞社に入ってくるルー

しかし、そういう話が

仕事ではないかな」と言 が僕らジャーナリズムの

ません。社会に関 養成するところで

心を持

相当力を入れており、人 運動)には各新聞社とも 聞を教材として活用する

はあり

てるこ

文・ジャーナリズム学科

ぐに記事になりました。 うような話で、これはす

大だと思います。学校だ の今後に期待するところ

ャーナリズム・コース(J

山田 来年4月からジ

題を地元の人と一緒にな

す。時代が変革期に突入 指摘しておきたい点で

のです。「沖縄の現状、

あるいは戦争というもの

り組まないといけないこ けない。新聞界全体で取 積極的に訴えなければい 中小企業の方がはるかに あります。例えば日本は 数が多いのに、新聞の取 取材先を見直す必要も ースバリューだろうなと でなんとなくこれがニュ

がすごく悩んでいるとこ ていくかは、各新聞社 ネット社会にどう対応 材先の大半は大企業。逆 転しています。

ジャーナリズム学科発

気の問題にしても、大企 ということに、まったく のを、もう一回ガラッと 論理で思い込んでいたも 勝手に作る側が生産者の 考え直さないといけない しゃる通りだし、その努 んもっと工夫をしなけれ は持っています。もちろ ばいけないことは、おっ 刀は必要です。しかし、 新聞はそれだけの歴史

るか」と聞くと、過半数 性について、授業で学生 っています。 今、みんなで一生懸命や し、それを高める作業を に聞いたことがありま 藤森 ニュースの信頼 まず「新聞を読んでい も、逆に改めて教えられ した。ネットの時代、い う。なるほど、と思いま しまっては怖いですね。 分からない世界になって 先の学生たちの反応に 時に、何が本当かが全然 ろいろな情報が飛び交う ためにもいろいろなメデ とを目的とします。その ち、良き市民を育 ます。その延長上 私たちの役割と思ってい ィアをどう活用するか も生まれる。

強いのではないかと思い

な形ができたら、新聞は

の通ったやり取りみたい ー・フェイスの交流、血

は一応読んでいる。「第 ◆新聞の必要性とは

聞いたら、新聞は全滅。 ィアで入手しますか」と みんなテレビないしネッ 一報をあなたはどのメデ 聞は社会全体が「必要 だ」ということによって 基本的に今の新

上でした。ところが「一

きプロ・ジャーナリスト **菅沼** 社会的関 に、良 新聞を大切に考えます の良さがあり、ネットの が、それぞれのメディア

ったら日本社会は崩壊で い人がどんどん増えてい かになり、それが民主主 あります。互いに補完し 優れたところもいっぱい と思っています。 張ってついてきてほしい ています。ぜひ学生に頑 目をたくさん開設し、第 し、正面から取り組む科 々をどの科目にもそろえ 一線で活躍されている方

制度が出来上がってい ながりもなくなる。コミ ュニティーがなく す。絆もなくなれば、つ てみんなの情報環境が豊 なる。 義の深化に役立てば一番

を、学生に伝えることが 材にも新聞は適している けでなく、生涯学習の教 と訴えたいですね。 藤森 私たちはやはり る時期に来ています。 まり、本格始動となり、 コース)の専門科目が始 学科として真価が問われ ジャーナリズムに特化

聞の位置づけは

われます。今回はそれを

務所事件」(200 先例として、「名

あったのか、長い時間を

はもちろん、本当に何が

革会議がつくら

実感させてくれました。

◆「人質司法」の問題

使命であることを改めて

らかにするのが新聞社の かけて検証し、真実を明 はアジェンダ・セッティ

藤森 メディアの役割

グ(受け手に対する社

のでしょうか。

(平成22年)

菅沼 堅吾 東京新聞編集局次長 専修大学育友会長 研 文学部准教授 田田 健太

「新聞を読まない」人、特に若者が増え、新聞の販売部数は漸減傾向、

ンターネットの普及によって、

新聞を取り巻く状況は大きく変わ

論説委員として1面コラムの「筆洗」担当。

アの情報だけで、私たちは社会情勢を的確にとらえることができるの

滕森研─朝日新聞編集委員・論説委員を経て

口韓ジャーナリスト交流をスタートさせた。 |問題など担当。 共著書に『報道の自由と人 ーから現職。記者時代は社会部で司法、教育、

るさまざまなメディアへの接し方を、3人のメッセージから探っていただ きたい。あわせて新生「人文・ジャーナリズム学科」の特徴をお伝えする。 に語っていただいた。これからの新聞の在り方を通じ、皆さんの周辺にあ い。それぞれの事象の本当の姿、背景を理解することができるのか。 **この特集では、ジャーナリズムの分野の第一線で活躍する3人に、存分** うのでしょうか、抜本的 いえます。形は朝日のス 鮮やかに新聞がやったと が熱心に書いています。 クープでしたが、各新聞 検察には「宿痾」と言 た。今回は報道の力を再 問題がたまっていまし に変えなければいけない のように取り組んでいけ 認識させてくれました。 、新聞はど と言っても大きい。速報 当たったというのが、 証報道をしていく過程で 粘り強い取材が必要で 証拠改ざんの事実に突き フェアになっていくよ には拍手を送ります。検 密室の取り調べ」がよ 透明化、可視化されて 今回のスクープ 何 ることです。大阪地検の プがあります。役割の いない記者たちのグルー いう記者クラブに属して 事件でも特性を発揮しま つは少数意見に光を当 い新しい視点を提供す 既成概念にとらわれ

世の中を動かしました。

新聞がリードをして

第一報をスクープした朝

員を受賞しました。 口新聞は今年の新聞協会 拠改ざん・隠ぺい事件

回の大阪地検特捜部の証

をにぎわしています。今

のニュースが世の中 久々に、新聞

ーナリズム』『放送法を読みとく』(共著)。 BPO放送人権委員会委員。近著に『法とジ -ナリズム論。 日本ペンクラブ言論表現委員 くなかった政府も重い腰 とで、貧困問題を認めた を上げた。ジャーナリズ などが次々に報道したこ たちの地道な活動を新聞 い」事務局の湯浅誠さん ポートセンター・もや NPO「自立生活サ という、捜査の動きを先 特捜部が誰を逮捕する」 分たちで調査した記事を る当局取材とは別に、自 動きを追い、チェックす もっとアピールしたい。 察や警察など捜査機関の 伝え方を議論しているの か。そこに問題がある。検 るのかどうか。新聞社は として読者に伝わってい 例えば「今日、東京地検 ただそれが新聞の魅力

しつこく

について掘り下げること 道ではないかという印象 した。今後は正義や真実 読者の期待に応える そういった新聞が ムの一つの成功例です。 新聞社側には、 一読ま

> までは無条件で大きな価 取りするスクープが、今

> > 方もありうるということ

という点で、少し前には 「ワーキングプア」の問 各テレビ、各紙それぞ れている」という実感は い。「新聞離れ」とよく 者の反響は非常に大き あるものですか。 実感はあります。読 の問題に関して言え 「貧困」と「検 記事、伝えるべき記事は にいいのか。読者のため その分、記者が発掘した 小さくなる。それで本当 値があるとされてきた。 になる記事、関心のある 地域の社会問題の扱いが 体どちらなのか。

外と電話もでき るようになり、

などして検証できるよう

大きな

題もありましたね。

代表が視察にる 刑施設に市民 密室だった

るようになりま

読者は読んでくれるので 自で発掘した問題を、き 言われますが、世の中を 震かんさせる出来事や独

的貧困が生まれてしまっ 記者らも「日本には絶対

ているぞ」「なんとかし

なければいけない」と世

問題提起し、社会的議

社会問題を記者がセッ

ィングする、

そういう

題を作ったと思います。

まったく同感で

事は日々行っていま

山田、

的には提示する義務もな 証拠を持っていても、 強要につながる。検察が 質司法」も同様。自供の なかなか釈放しない「人

被告人の無罪を立証する

はたいへん力を入れた 報道しました。東京新聞

毎日新聞の東海林智

れが貧困問題を頑張って

の基準や習慣にとらわれ 作業を進めることができ れば、新聞を読む人は増 ニュースの価値を従来 がりもあるよ。あるいは るのもなかなかしんどい けれど、こういうふうな メディア」になれたらい 八間同士のあり方、つな

◆「町の公園が汚い」

きれいにしようという運 いくことが大切です。 聞も地味な努力を重ねて 動に結びつけていく。新 そういう話題を記 公園を って、掘って、ずっと掘 っていかないと本質的な ね。気になることを、 の改ざん問題もそうなの れていってしまう。今度 ニュースは出てこない。 ニュース発掘の問題です 探すと、尖閣諸島問題に だと思います。 そのまま歴史の闇に埋も もうひとつその答えを 一平時」の 掘 地域では郷土紙です。地 都道府県にまたがる新 り上げなかったら、その 多発テロ」後のアメリカ ます。東京新聞は と、温かい視線だ ともに歩んでい の信頼と共感を得 聞)ですが、それぞれの ク紙(販売地域が複数の でいくものだ。記者が取 と、そこに住むり 丁寧に書くことで、 域に密着したニュースを 不可欠なことは て、次 と思い というのは、一人ひとり てなかったのです。 く姿勢人に焦点を当て、「新聞 だちと て来なさいよと。無名のと。その状況で、朝日は ブロッ の人生を歴史に刻み込ん 読者ういう役割もあることをルー・ゴードン教授は、 自覚すれば、時の為政者 てしまう」と言いました。時と同じようだったと、 人は歴史の記録から消え のメディアが、実はその う、現場でよく話を聞い 若い人が自分たちにそ ハーバード大学のアンド 私のインタビューに言っ に、01年の「9・11同時 国民的孤立への恐怖に勝 益を背負ってしまったこ

ところが興味深いこと

こは日本の領海である」 ということをNHKや読 政府の主張である「あそ た。しかし中国から言わ 売新聞は繰り返しまし たように感じます。日本 報道は、やや一面的だっ ついての今回のメディア ていきたいですね。 け継ぐ戦争」があります。 ープによって、読者との 然、厳しくなる。二度と に「記憶~新聞記者が受 つながりを一層強固にし に読者のためになるスク に対する監視の目は当 ていました。 東京新聞の企画 時代、「新聞と戦争」の 論ですね。 方というのは、根幹の議 戦争を起こさせないため のジャーナリズムのあり 山田 藤森さんは朝日

◆再び戦争をし ない

チーム取材のまとめ役を かしそう書くと国益に反

する、取材情報が取れな

米メディアは内心で「怪

しい」と思っていた。し

カイダとつながってい がある」「イラクはアル

「イラクに大量破壊兵器

ブッシュ前大統領の

る」という主張に対し、

る時の登竜門とし 戦争を体験した人 い記者が増えている。 の話を聞いて、追体験し るためには、いつ、どこ しいる。ところがだんだ で 有は、 取材で 戦争体験者 です。私もそうですが、 芸の時に始めた通年企画 筝を知らない世 取材をしたことがな のか」という問題意識で、 人前の新聞記者にな 代の記 社会部 て必ず ナリズム大賞などを受 新聞はどこで間違ってし 橋湛山記念早稲田ジャー まったのか」「戦争を避けた。「満州事変の時、軍 でした。「戦争への道で、 されました。 「新聞と戦争」(8年度石 、何をすればよかった 藤森 まさに検証報道 うのです。 の発表を内心で怪しみな くなるということで、結

お先棒をかついでしまっ

局戦争の正当化、うその

本の新聞と、同じ」と言 のままに報じた当時の日 がら、結局は軍発表をそ

聞いて、もう一度自分た ちの役割はいったい何な そうい (の話を 賞) の連載を1年間やり ました。 いってしまったとされま は戦争へと、曲がって、 して、天皇主権であった す。調べてみたら、これ りました。長期的要因と ◆国民的孤立の恐怖 満州事変を機に、朝日 が戦争に協力してしまっ 変わった点は、憲法体制 た戦前から、今は大きく 日本の場合、メディア

過ぎなかったこと。中期に時に負けてしまったり

ると、とんでもないこと こと、言論の自由が臣民 うメッセージを若 新聞記者になった以上、 になる。我々は被害者と の法律の範囲内の権利に に伝えたい思いがありま にはいくつもの要因があ のかを確かめてほしい。 同時に加害者にもなる。 はいけないという原点を 戦争を二度と起こさせて 国というものは一歩誤 過ちをが100万部を超えて国は、あまり変わっていな 民的メディアになり、国いようにも思われます。 的要因は、大正末に部数 する。そのような体質

読まれるために

読んでもらうために、 をすべきでしょうか。

新聞をきちんと

不十分だと感じました。

日中問題」ではそれが

◆、共感のメディア、

さらに私は、「共感の

ナリズムとして必要では していくことが、ジャー を、もっと多角的に報道

ないでしょうか。今回の

日に見えないところで頑

一度と繰り返さ

ないよ

るいは国民的孤立の恐怖 過剰な配慮をしたり、あ はとても良くなった。 ました。外周りの、足場に 上存在しないことになり り、言論の自由は基本的 ィアが、目先の情報源に 人権となり、軍部は憲法 です。国民主権に変わ しかし新聞などのメデ